

京都府酪農・肉用牛生産近代化計画（令和12年度目標）

■ 趣旨

酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針

①肉用牛・酪農経営の増頭・増産、②中小規模の家族経営を含む収益性の高い経営の育成、経営資源の継承、③経営を支える労働力や次世代の人材の確保、④家畜排せつ物の適正管理と利用の推進、⑤飼料の自給率の向上、⑥需要に応じた生産・供給の実現のための対応、⑦輸出の戦略的な拡大、⑧災害に強い畜産経営の確立、⑨家畜衛生対策の充実・強化、⑩GAP等の推進、⑪資源循環型畜産の推進、⑫安全確保を通じた消費者の信頼確保、⑬国民理解の醸成・食育の推進等

により持続可能な酪農及び肉用牛生産への転換を図る。

■ 飼養規模の目標

1 酪農：地域の特性や経営形態に応じた多様で合理的な経営体を育成。

項目	戸数 (戸)	総頭数 (頭)	経産牛1頭当たり の乳量(kg)	生乳生産量 (トン)	1戸当たりの飼 養頭数(頭)
現在(30年度)	50	3,590	9,760	26,546	71.8
高齢農家の廃業 現在の農家年齢から推定					
12年度予測	40	3,356	10,038	25,828	83.9
・第3者経営継承及び新規就農者に確保					
目標(12年度)	41	3,770	10,230	29,565	92.0
・生乳生産量の確保					

2 肉用牛：高品質な京都生まれ京都市育ちの牛肉の安定的な供給を目指す。

項目	肉専用種戸数(戸)				繁殖雌牛頭数(頭)			肥育牛頭数(頭)		
	繁殖 経営	肥育 経営	一貫 経営	計	繁殖 経営	一貫 経営	計	肥育 経営	一貫 経営	計
現在(30年度)	49	19	3	71	763	197	960	4,262	140	4,402
高齢農家の廃業 現在の農家年齢から推定										
12年度予測	38	14	5	57	692	197	889	2,310	2,038	4,348
・第3者経営継承及び 新規就農者に確保										
・経営規模の拡大										
目標(12年度)	40	14	5	59	880	270	1,150	2,460	2,040	4,500

3 飼料自給率の向上

耕畜連携によるWCS等の飼料生産拡大による自給率の向上

項目	自給飼料率(%)				
	乳用牛	肉用牛		合計	
		繁殖	肥育		
現在(30年度)	11.34	7.93	54.00	1.15	9.73
・稲WCS、飼料用米の増産による自給率の向上					
目標(12年度)	20.18	16.28	67.50	7.39	18.36